

北九州埠頭株式会社

北九州埠頭株式会社

I 法人の概要（令和6年4月1日現在）

1 所在地

北九州市門司区本町2番10号 サンリヤン門司港2F

2 設立年月日

昭和32年10月30日

3 代表者

代表取締役社長 青木 幸浩（令和6年6月21日就任）

4 資本金

10,000千円

5 北九州市の出資金

5,120千円（出資の割合 51.2%）

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	8人	0人	2人	6人
常 勤	3人	0人	2人	1人
非常勤	5人	0人	0人	5人
社 員	49人	0人	0人	49人

7 市からのミッション

- ① ガントリークレーン等の港湾施設のメンテナンス業務について、ノウハウの蓄積や人材の育成を行いながら、市に替わって実務を担うことで、港湾施設の24時間365日の安定稼働を実現し、信頼性の高い港湾運営に貢献する。
- ② 第3セクターの強みを活かし、埠頭運営の効率化に向けて、中心的な役割（人材育成など）を担っていく。
- ③ これまで培ってきた高度なメンテナンス技術を活かし、地場企業の不得意分野に対する技術協力を推進し、地域産業の振興、競争力強化に貢献する。

II 令和5年度事業実績

北九州埠頭株式会社は、北九州港の効率的な運営を図り、その機能を最高に発揮させることを目的として、各種港湾施設の管理運営、維持管理業務等の事業を行っている。

令和5年度の業績概要は、総収入719,507,913円、総支出713,330,774円、税引前当期純利6,177,139円となった。

1 受託事業について

令和5年度は、

- ・港湾施設指定管理業務
- ・港湾施設管理運営業務

を北九州市から受託して実施した。

本市の指導の下、業務の円滑な遂行と港湾施設の効率的な運営、安全性の確保、港湾利用者の利便性の向上に努めながら、業務を遂行した。

2 自主事業について

令和5年度は、

- ・船舶給水販売業務
- ・若松月極駐車場業務
- ・田野浦埠頭荷さばき施設管理業務

等を実施した。

主要自主事業の概況は次のとおり。

【船舶給水販売業務】

田野浦1号岸壁～8号岸壁への接岸船舶を対象に、給水販売を行った。

令和5年度は、着岸する船舶が減少し、給水量も減少したため、約5%の減収となった。

【若松月極駐車場業務】

平成23年度から、料金の見直しや駐車場舗装路面の整備等を行い、契約台数の拡大を図ってきた。

令和5年度の契約台数実績は、期首152台に対し、期末154台で増加し、事業収入は、前年度とほぼ同様である。

【田野浦埠頭荷さばき施設管理業務】

平成22年度から岸壁と荷さばき地を一体的に運営する田野浦特定埠頭運営事業を行ってきたが、港湾法改正により、特定埠頭運営事業として継続することが出来なくなったため、令和2年4月1日から、「田野浦埠頭荷さばき施設管理業務」として、これまでと違う形での運用を行っている。事業収入は、前年度とほぼ同様である。

3 部門別収入実績

事業別	部門別	収入	収入比率
受託事業	港湾施設指定管理業務	587,982,187 円	85.78%
	港湾施設管理運営業務	49,029,000 円	7.15%
	合 計	637,011,187 円	
自主事業	船舶給水販売業務	4,577,636 円	0.67%
	若松月極駐車場業務	8,262,468 円	1.21%
	田野浦荷さばき地管理業務	6,809,006 円	0.99%
	リサイクルポート施設運営業務	1,553,216 円	0.23%
	その他業務	25,971,880 円	3.79%
	合 計	47,174,206 円	
営業収入合計		684,185,393 円	
営業外収益他		1,248,991 円	0.18%
総 合 計		685,434,384 円	100.00%

Ⅲ 令和5年度決算

1 貸借対照表(総括表)

令和6年3月31日現在(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
1 流動資産	598,449,778	1 流動負債	119,747,368
現金及び預金	557,187,844	未払金	90,784,420
貯蔵品	18,829,606	前受金	810,900
前払費用	666,376	預り金	2,171,548
未収金	21,765,952	未払法人税等	672,200
		賞与引当金	13,444,000
		未払消費税等	11,864,300
2 固定資産	32,437,151		
(有形固定資産)	29,904,581	2 固定負債	114,785,475
建物	11,786,043	退職給付引当金	114,785,475
建物付属設備	15,483,340		
構築物	17,555,029		
車両運搬具	25,382,617		
工具器具備品	17,060,840		
リサイクルポート施設	47,600,000		
田野浦特定埠頭施設	51,300,952		
一括償却資産	5,620,411		
減価償却累計額	▲161,884,651	負債の部合計	234,532,843
(無形固定資産)	62,000	(純資産の部)	
電話加入権	62,000	1 株主資本	396,354,086
(投資その他の資産)	2,470,570	(資本金)	10,000,000
敷金	2,351,020	(利益剰余金)	386,754,086
預託金	119,550	利益準備金	2,500,000
		繰越利益剰余金	384,254,086
		(自己株式)	▲400,000
		純資産の部合計	396,354,086
資産の部合計	630,886,929	負債及び純資産の部合計	630,886,929

2 損益計算書

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日 (単位：円)

科 目	金 額	
(営業損益の部)		
1 売上高		
指定管理業務収入	587,982,187	
港湾施設管理運営業務受託料	49,029,000	
船舶給水収入	4,577,636	
駐車場収入	8,262,468	
リサイクルポート施設料	1,553,216	
田野浦埠頭荷さばき施設収入	6,809,006	
その他業務収入	25,971,880	684,185,393
2 売上原価	341,330,606	341,330,606
3 販売費及び一般管理費	331,998,804	331,998,804
営 業 利 益		10,855,983
(営業外損益の部)		
1 営業外収益		
受取利息	325	
雑収入	1,248,666	1,248,991
2 営業外費用		
雑 損	11,012	11,012
経 常 利 益		12,093,962
(特別損益の部)		
1 特別利益		
事業譲渡収入	34,073,529	34,073,529
2 特別損失		
固定資産除却損	8	
事業譲渡原価	39,990,344	39,990,352
税 引 前 当 期 純 利 益		6,177,139
法人税・住民税及び事業税		4,656,000
当 期 純 利 益		1,521,139

IV 令和6年度事業計画

1 指定管理業務

指定管理業務等の実施にあたり、多岐に亘る施設・業務に関し、長期的視点に立った効率的な管理運営を実施するとともに、管理運営業務における改善の提案を積極的に行う等、港湾利用者の立場に立った利便性の向上を図るため、下記の基本方針を定め、推進する。

- これまで培った経験やノウハウ・高い技術力を業務に活かすことにより、経費の削減に努めるとともに、利用者の立場に立った安全・確実・迅速なサービスを提供する。
- 各埠頭の現状、多種多様な港湾施設の設置目的や特徴及び利用実態などを踏まえて、施設の有効活用に努める。
- 人材の育成を強化するとともに、施設利用に係るマニュアル化を推進することで、効率的で質の高い管理運営と施設の平等利用に努める。
- 日常の事故防止に向けて、安全対策を徹底する。
- 電気機械設備の予防安全や災害時の復旧対策等を充実することにより、港湾物流の定時性を確保できる安全安心な港づくりを目指す。
- 関係諸法令を遵守するとともに、高い倫理観を持った職員を育てることで、個人情報の適切な管理など、コンプライアンスの徹底に努める。

2 自主事業

今期、下関市から、ガントリークレーンの年間の保守点検業務に加え、補修業務を含む予備部品の購入契約、ワイヤーロープの取替業務、給電ケーブルの取替業務等を受注した。

また、民間フェリー会社から、前期に引き続き今期も可動橋の維持管理について年間の保守契約を受注した。

令和6年度も引き続き、他港のガントリークレーンの保守点検業務やワイヤーロープ取替工事などの受注に向けて、積極的に取り組む。

なお、令和4年12月に建設業の許可を取得したことにより、北九州市や下関市の公共工事に参加することやメーカーの要請に応えることが可能となったため、建設業許可を活用した事業の拡大にも取り組む。

3 主要な事業内容（令和6年6月1日現在）

事業別	部門別	業務内容
受託事業	港湾施設指定管理業務	電気・機械設備等の保守点検業務
		建築物等の保守点検業務
		消防用設備の保守点検業務
		浄化槽の維持管理業務
		クレーン・可動橋等機械設備の性能維持業務
		使用許可申請書の受付、端末機の入力、使用許可書の交付・発送等に関する業務
		使用料の算定、納入通知書の発送、催促状発送等に関する業務
		埠頭内調整業務
		施設利用者等からの要望及び苦情等に関する業務
		施設の管理業務（夜間入港・警備・し尿処理・除草等）
		施設の定期及び臨時巡回、指導等に関する業務
		緊急時の対応業務
		補修依頼書の作成業務
		水道管の分岐承諾に関する業務
		事務所等の管理業務
	光熱水費等の支払業務	
	機械設備及び電気設備の緊急工事対応業務	
	港湾施設管理運営業務	電気・機械設備・建築物・消防用設備の保守点検業務
	可動橋等機械設備の性能維持業務	
	港湾施設の巡回・監視及び施設の使用許可、収入調定等に関する業務	
ソーラス条約による港湾保安対策用電気設備の保守点検業務		

自主事業	経営委任施設管理運営業務	田野浦埠頭における燐鉱石揚積に関する業務
	船舶給水販売業務	船舶で使用する水道水の販売 (北九州市上下水道局許可事業)
	若松月極駐車場業務	月極の賃貸駐車場
	田野浦埠頭荷さばき施設管理業務	田野浦埠頭荷さばき施設の管理業務
	リサイクルポート施設運営業務	循環資源取扱荷さばき地の管理運営
	その他業務	入札やメーカー等の依頼による他港でのガン トリークレーンの保守点検や業者の依頼によ る技術助勢等

V 令和6年度予算

予定損益計算書

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日 (単位：千円)

科 目	金 額	
(営業損益の部)		
1 営業収益		
[受託事業]		
指定管理業務収入	605,100	
港湾施設管理運營業務受託料	56,978	
[自主事業]		
燐鉱石業務収入	100	
船舶給水収入	4,500	
駐車場収入	8,350	
田野浦埠頭荷さばき施設収入	6,800	
リサイクルポート施設収入	1,100	
その他業務収入	16,320	699,248
2 売上原価	345,471	345,471
3 販売費及び一般管理費	343,436	343,436
営 業 利 益		10,341
(営業外損益の部)		
1 営業外収益		
受取利息	5	
雑収入	831	836
2 営業外費用		
雑損	0	0
経 常 利 益		11,177
(特別損益の部)		
1 特別利益		
固定資産譲渡収入	0	0
2 特別損失		
固定資産除却損	0	
固定資産譲渡原価	0	0
税 引 前 当 期 純 利 益		11,177

VI 役員名簿等

1 役員名簿

令和6年7月1日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役社長	青木幸浩	北九州埠頭株式会社
取締役	佐溝圭太郎	北九州市港湾空港局長
//	伊坂甲	太平洋セメント株式会社 九州支店 セメント営業部 部長
//	三善顕	UBE三菱セメント株式会社 九州工場 事務部 部長
//	真弓真一	北九州埠頭株式会社 経営企画部長
監査役	豊永知明	太平洋セメント株式会社 九州支店 業務部 部長
//	泥谷智徳	小野田化学工業株式会社 門司工場 工場長

2 市との特命随意契約の状況（令和5年度実績）

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
北九州港港湾 施設等管理運 営業務	53,932	公募を実施したものの応募者がなく、他に業務を遂行できる者がいないため	地蔵面公衆便所 浄化槽保守点検 業務委託	439	有限会社 荒井設備 商会	随意契約 (見積合せ)	
			地蔵面公衆便所 清掃等業務委託	550	クリーン アップ	随意契約 (見積合せ)	
			門司地区上屋外 消防用設備点検 業務委託（西海 岸2,3,4号上屋）	106	帝産業株 式会社	随意契約 (見積合せ)	
			国際海運会館消 防用設備等保守 点検業務委託	77	有限会社 米山商会	随意契約 (特命)	当社契約規則に基づき 10万円以下の場合 は随意契約の特命
			太刀浦・新門司 地区外港湾施設 清掃業務委託	1,087	太刀浦埠 頭株式会 社	随意契約 (見積合せ)	
			西海岸・大里地 区外港湾施設清 掃業務委託	715	株式会社 広吉環境 開発	随意契約 (見積合せ)	
			門司地区除草外 業務委託（大里 海岸緑地、新門 司海浜緑地、新 門司2号護岸）	2,143	有限会社 入江技建	随意契約 (見積合せ)	
			新門司(4号)可 動橋ディーゼル エンジン発電機 点検業務委託	108	機電サー ビス	随意契約 (特命)	発電機メーカーの指定 サービス工場である機 電サービスでなければ 本業務が履行できない ため
			洞海湾清掃業務 委託	5,122	前田環境 株式会社	随意契約 (見積合せ)	
合 計	53,932		合 計	10,347			